

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		010101021200		事業の種類		4	
年度	29	事務事業名	子育て応援券交付事業	予算事業名	子育て応援券交付事業	優先度	3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課				
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	清水 直子	担当者名	前岸 育恵		
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生子育て応援券交付事業実施要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	平成23年4月1日以降に生まれたお子さんを持つ家庭							
	誰(何)を対象として	平成23年4月1日以降に生まれたお子さんを持つ家庭							
	意図(どのような状態にしたいのか)	有料の子育て支援サービスに利用できる子育て応援券を発行し、サービスを利用しやすくすることで、子育て家庭の不安解消や子育て負担の軽減を図るとともに、家庭や地域の子育て							
	事業の全体年度	事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)				

2 事業の概要 Do

実施の概要		3歳に達するまでの期間、有料の子育て支援サービスに利用できる子育て応援券2万円を交付する。(平成26年3月31日までは3万6千円)				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	応援券交付件数	件数	263	246	275	270
	登録事業者数(任意の予防接種除く)	件数	27	28	28	30
	応援券利用金額	円	3,595,000	3,447,000	3,466,000	4,092,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.081	0.060	74	0.042	70	0.040	95	
	臨時職員	0.265	0.365	138	0.230	63	0.300	130	
支出内訳	人件費	1,618,831	1,752,081	108	1,301,088	74	1,512,432	116	
	事業費	3,603,100	3,770,981	105	3,471,660	92	4,109,000	118	
	合計	5,221,931	5,523,062	106	4,772,748	86	5,621,432	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,221,931	5,523,062	106	4,772,748	86	5,621,432	118	
	合計	5,221,931	5,523,062	106	4,772,748	86	5,621,432	118	

※ 事業の進捗状況

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応援券利用者状況(利用率)							
指標説明(式)		応援券利用者数/応援券交付者数(%)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	70	75	107.1	80	106.7	80	100.0	
	実績	75.8	76	100.3	76.8	101.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

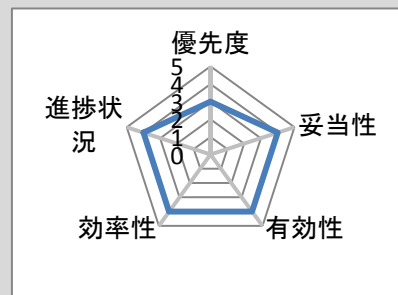
指標名1		応援券交付1件当たり経費(サービス利用金額を除く)							
指標説明(式)		人件費・事業費(サービス利用金額を除く)／交付件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6,359	8,285	130.3	6,078	73.4	5,665	93.2	
	実績	6,186	8,439	136.4	4,752	56.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	育児による不安感の解消と負担感の軽減を図るとともに、子どもが健やかに育ち、子育てしやすい環境をつくるために実施する事業であり妥当である。	4
	市民ニーズ	応援券を交付することで有料の子育て支援サービス(一時預かり、任意の予防接種等)が利用しやすくなる。	
有効性	市民サービス	任意の予防接種や産婦検診、乳児健診等の利用は増加しており、保護者や子どもの健康保持が図れている。	4
	成果目標(改善)達成度	登録事業者数は一定数を維持しており、利用率も年々上昇している。	
効率性	手段の最適性	申請もれがないよう対象者を抽出し、未申請者へは個別に案内をする等の対応をし、速やかに発行、処理できている。民生・児童委員、主任児童委員に交付を依頼し、地域での子育て支援活動に繋がっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利用率の向上を図る。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利用率の向上を図るため、関係機関と連携しながら制度のPR・周知に努めるとともに、利用できるサービスを確保する。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 31年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	乳幼児の1歳半健診等の機会を利用し、保護者に対して子育て応援券のニーズ調査を実施する。また、調査結果によって、現在のサービス内容の見直しを行う。
見直し事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持